

事務事業名		白岩生活改善センター維持管理事業				評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)		
政策体系	基本目標	5 市民みんなでつくる夢のあるまちづくり				担当組織	担当部	市民生活部	担当課	野上支所	
	政策	1 人権を尊重した市民参加によるまちづくり				担当係		担当課長名	永瀬明子		
	施策	1 市民と協働した地域づくりの推進				事業区分	新規事業・継続事業		継続事業		
	基本事業	2 市民活動団体への支援と連携強化					実施計画事業・一般事業		一般事業		
短縮コード	会計	款	項	目	市単独事業・国県補助事業		市単独事業				
予算科目	1444	一般	2	1	8	白岩生活改善センター維持管理事業				任意の事業・義務的の事業	任意の事業
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S47年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市生活改善センター条例同条例施行規則				実施方法	一部委託
										事業分類	施設維持管理事業(市主体)
										リーディングプロジェクト	該当なし
										市長マニフェスト	該当なし

1. 事務事業の現状把握[DO]

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

①手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)											
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)					平成27年度実績(平成27年度に行った主な活動内容)						
生活改善センターとして地域産業の発展、教養文化の向上及び住民福祉の増進を図るため設置されており、地域住民をはじめとする市民等の利用に供するとともに施設の維持管理を行う。利用に供する部分(木工室、和室、調理実習室等)					白岩生活改善センターの維持管理業務 業務委託(消防用設備等点検業務・施設管理)						
活動指標					単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)	
設備点検数					件	10	13	15	12	12	
修繕件数					件	0	0	0	0	0	
②対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)											
・利用者 ・施設、設備					対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(見込)	29年度(見込)
利用者数					人	60	60	60	60	60	
延床面積					m ²	263	263	263	263	263	
目的 ③意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)											
・安全で快適に施設を利用できる。 ・安全で快適な環境に施設を維持できる。					成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
施設の維持管理上の不具合件数					件	0	0	0	0	0	
④結果(どのような結果に結びつきますか?)											
市民活動団体が活発に活動している。					上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)
市民活動に携わっている団体数					団体	330	335	340	345	350	

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費 投入量	財源内訳	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(目標)	29年度(目標)	
	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円						
	地方債	千円						
	その他	千円	21	21	21	21	21	
	一般財源	千円	180	157	147	157	157	
	事業費計(A)	千円	201	178	168	178	178	
	事業費の内訳	千円	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
			需用費	90	需用費	67	需用費	56
			役務費	11	役務費	10	役務費	10
			委託料	101	委託料	101	委託料	101
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	
		のべ業務時間	時間	195	195	195	195	
	人件費計(B)	千円	759	768	759	759		
	トータルコスト(A)+(B)	千円	960	946	927	937		

事務事業名	白岩生活改善センター維持管理事業	担当部	市民生活部	担当課	野上支所	担当係	
-------	------------------	-----	-------	-----	------	-----	--

(3)事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	昭和46年度建設、昭和47年4月から供用開始。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	開設以来44年が経過し老朽化がひどく、木工室、和室のみが利用可能であるが、施設全体を見ると休止・廃止等の検討が必要である。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	施設が老朽化している。

(4)前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業統合・連携	今後、老朽化に伴い廃止・休止となった場合は、野上基幹集落センター維持管理事業に統合は充分可能である。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	
	結びついている	理由・改善案 整備された環境での地域住民の活動の場の確保ができる。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	
	市が行わなければならない	理由・改善案 地域産業の発展、教養文化の向上、住民福祉の増進を図るため設置されており、市民活動の拠点となっている。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	
	妥当である	理由・改善案 条例に基づく事務であり、見直す必要はない。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	
	成果向上余地がない	理由・改善案 白岩生活改善センターの維持管理事業のため、現状維持の状況である。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	
	類似事務事業があり統合・連携できる・している	理由・改善案 類似事務事業名 野上基幹集落センター維持管理事業、作原生活改善センター維持管理事業 老朽化がひどく、木工室、和室のみ利用可能であるが、ここ数年は木工室のみの利用である。当センターと野上基幹集落センターは近距離にあり、統合は充分可能である。 *類似事務事業があれば、名称を記入
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	
	削減の余地はない	理由・改善案 最小限の維持管理のための必要経費であるため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	
	現在の受益者負担は適正である	理由・改善案 佐野市生活改善センター条例に基づき、利用者から適正な使用料を納入していただき事業を行っている。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？)	
	ここ数年、木工クラブ以外の利用者が無く、木工クラブの動向により、廃止できる。	

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1)今後の事務事業の方向性		(2)改革・改善による期待効果	(3)改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策
事業統合・連携		廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。	休止・廃止の時期については、木工室の取扱いについて、地元との協議結果によることになる。
*評価結果に基づいた改革改善案を記入します。 (複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 木工室を利用している団体との調整により、近距離にある野上基幹集落センターとの統合は可能である。		コスト 削減 維持 増加 成果 向上 ○ × 維持 ○ × 低下 × ×	